

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：R5年1月31日

事業所名：ゆいまーる わんぴーす

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

Table with 4 main columns: 区分 (Category), チェック項目 (Check Items), 事業所の現状評価 (Current Status Evaluation), 保護者の方の評価 (Evaluation by Guardians), and 評価を踏まえた改善内容・改善目標 (Improvement Content/Goals based on Evaluation). The table is divided into four main sections: 環境・体制整備 (Environment/Structure Improvement), 業務改善 (Business Improvement), 適切な支援の提供 (Provision of Appropriate Support), and 関係機関との連携 (Collaboration with Related Organizations).

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
関係機関との連携 (続き)	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間で支援内容等の十分な情報共有	3	1	2	支援事業所からの円滑な移行のための情報提供・情報共有はあるが、中高生の利用が多いため、保育所等との情報共有はない。					中高生利用のため、現在は保育所等との情報共有はないが、保護者様からの要望や必要な場合には情報共有出来る様にしていく。	
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	2	0	必要に応じて情報提供を行っている。					これからも必要に応じて、情報提供を行っていく。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2	2	1	児童発達支援センター等の専門機関とは、モニタリングや担当者会議等で連携をとっている。また、外部の研修等にZOOMで参加させてもらっている。					児童発達支援センター等の専門機関とはモニタリングや担当者会議で連携を取らせてもらい、専門機関での研修も引き続き行っていく。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	0	4	今のところはない。	5	7	6	21		機会があれば提供していく。
	8	事業所の行事へ地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	1	5	今のところ地域住民との関わりはない。						地域の方々との関わりも必要に応じて考えていきたい。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5	1	0	契約時や送迎時に運営規程・利用者負担等についての説明を行っている。	35	4	0	0		更に丁寧な具体的な説明をさせて頂く。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6	0	0	支援内容の説明は担当者の時などに行っている。	31	7	1	0		支援計画を示しながら、わかりやすい説明は出来るのか職員間でも検討しながら改善に取り組む。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2	0	4	ペアレントトレーニングが適切に行えるように、内部研修を行っているが、うまくできていない。	21	2	5	11	送り迎えをしているので、その時にお話（相談）したりしています。	ペアレントトレーニングを理解し実施できるよう、研修等を行っていく必要がある。
	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6	0	0	連絡帳や送迎時等に利用時の様子や気にかかることを伝え、また保護者様からお子様の状況・課題への相談等に共通理解を持ち、希望に添えるように努めている。	36	1	1	1		これまで以上に連絡帳や送迎時に様子をお伝えし、共通の理解を深めていけるよう徹底していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応に必要な助言の実施	4	2	0	できる限り様々な情報を集め、皆で話し合い、適切に対応できるようにしている。	25	4	4	6		保護者様からの相談は、皆で情報共有し十分に話し合い、適切な助言が行えるよう努める。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	2	1	3	保護者会を開催し保護者様同士の連携を支援し始めていたが、コロナ禍で中断している。状況に合わせて再開する事を検討したい。	9	5	8	15	コロナが落ち着いたら楽しみにしています。本人が好きな活動だけを選びがちなので、今のところ特に必要と感じていません。	保護者様同士の関わりや連携が取れる場を提供出来るよう、保護者会開催の検討をしていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	5	1	0	苦情への迅速な適切な対応は、常日頃より行っている。	24	6	1	6		何の不満もなく楽しく利用させて頂いてます。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6	0	0	ご利用者様、保護者様に安心して施設利用していただけるよう常に心がけている。	31	6	0	0		利用時に持参するファイルに様子や写真を添えたりしてくれるので助かります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5	0	1	1ヶ月のイベントスケジュール表を配布したり、1日のイベントスケジュールを渡すこととしてもらっている。急な連絡もできるだけ細やかに行うよう心がけている。	29	4	0	3		活動概要・行事予定・連絡体制の情報を保護者様へもお届けできるよう発信していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	6	0	0	いつも皆で個人情報の取り扱いに間違いがないように、話し合っている。	34	1	0	2		個人情報はテラートなので、皆で話し合い対応できているが、確認していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	2	0	緊急時等は時々で変化するものなので、その都度会議で話し合い対応を決め周知している。	39	3	0	5		職員、保護者様へ周知できていないので、周知を徹底していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	6	0	0	年2回以上は避難訓練を行っている。危機管理のイベントを行うことで、災害に対する意識を喚起している。	23	4	0	10		イベントで避難訓練をおこなっているが、参加していない利用者様（保護者様）への周知が出来るよう取り組む。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	6	0	0	外部からの講師を招いての研修、内部研修も年間計画を立てて行っている。						虐待防止委員会の開催や職員研修機会の確保、職員の意識向上を行っていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	2	0	施設内外での話し合い等組織的に決定し、子どもや保護者には納得のいく説明、了解を得た上で計画には記載している。						必要な場合に応じ施設内外で話し合い、組織的に決定し、利用者様や保護者様に説明、了承を得た上で実施する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	4	2	0	食物アレルギーのあるご利用者様に対しては保護者様より医師からの指示書の提出をお願い、対応している。						食物アレルギーのある利用者様に対しては、必要であれば保護者様より医師の指示書の提出をお願いし、適切に対応していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	6	0	0	ヒヤリハットは作成しているが、もっと作成が必要だと感じている。						事故防止等の情報共有、適切な支援のため小さなことを見逃さず作成していく。